

ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)
 前橋市元総社町六七番地
 電話 027・2555・3434
 FAX 027・2555・3435

先日、友人からテレビに桐生が出るから・・・とメールがあり、早速テレビ東京の「出沒！アド街ツク天国」を見ました。

たびたび「ノイエスだより」で桐生のお話を書きますが、昔とさほど変わらない町並みでありながらも、桐生の人々の古いものと新しいものを上手に取り込んでいく才能と努力に感心しました。

繊維産業も私生まれた頃から比べると不況の波は大きな影響を受けているはずですが、それでも伝統技術に新しい技術を加え新商品の開発を積極的に進めている人々の情熱に、「出沒！アド街ツク天国」でベスト30をあげるだけの魅力ある街であることに誇りを感じました。

「西の西陣、東の桐生」と言われるほど、昔は外を歩けば機織の音や染料の匂いがし、夜になれば割烹料亭周辺では三味線の音や唄が流れてきて、旦那衆の寄りあいがあり、芸者さんが華やかな着物で街を歩いている姿を見ました。柳が風に揺れている・・・そんな風情は昨日のように思い出されます。山々に囲まれた盆地ですが車で梅田方面に行けば溪流に築があり、道祖神が道端にそっとあり、川魚やうどんを食べる店があり・・・街中は路地を楽しみながら歩けます。機織をしていたノギリ屋根の工場は今ではパン屋さんや菓子屋さんになっていたり、入場料無料の桐生が岡遊園地&動物園は大人でも一日遊べます。

「桐生着道楽男のおしゃれ・・・」という唄を昔々に口ずさんだ記憶があります。桐生の人々の着道楽はもちろんですが、味覚に対してもなかなかのものがあり、鰻屋、ソースカツ丼、ひもかわうどん、花ばん、アイスまんじゅう、芭蕉のカレー、若宮のとうふ懐石・・・和菓子やスイーツもいろいろ楽しめます。渡良瀬川、桐生川の川沿いを歩き、街中を歩き、骨董市で掘出し物を見つけ、大川美術館の作品を鑑賞し、一店舗一作家の商店の作品を見てまわり、そして美味しい食事をして、街中に点在する銭湯に入っただけを過ごす・・・桐生散策を是非お勧めいたします。

商店街の空洞化現象や街づくりに行政も個人店舗も危機感を感じていることをニュースでよく耳にします。街に活気を取り戻し、人々が集い、楽しめる街づくりは、そこに住む人々が積極的に参加型イベントに取り組み、情報を共有化し、バランス良くコーディネート出来る、情熱がある人々が中心になって運営していけることが理想だと思います。クチコミやインターネットで「おもしろい」「美味しい」は風に流れるように伝わり、いっしょに気がついた時には街が息づいてきていると感じることを目指す。

ノイエス朝日のご案内(スペース1・2)

飯出袈裟市木工展 暮らしの挽物

会期 九月三日(土)～十一日(日)
 午前九時三十分～午後五時

飯出袈裟市氏の挽物歴は五十二年になります。

素材の見極め、その素材をどのように何にするか、そして伝統技術を基に、その時代に合った用の器としての新しさも要求されます。椀、茶筒、茶托、菓子器、盆、楊枝入れ、調味料入れ・・・と普段使いの作品が主な展示となります。飯出氏と一本の木、塩地(シオジ)との出会い。拭漆の技術の話など「木地屋が見る木の顔」(文・飯出袈裟市)を「来廊された方に差し上げます。」

松尾昭典作陶展

会期 九月十七日(土)～二十五日(日)
 午前九時三十分～午後五時

松尾昭典氏の作品との出会いは二十年程前になります。

大分生まれ、益子、萩、小石原で修行。津久見に築窯。一九九一年に赤城村に築窯。そして現在に至っています。岩魚や山女、案内状にあるペラ科のキウウセン・・・など生きているようなリアルな魚の作品を中心に普段使うご飯茶碗などの食器類も多く、新しい試みとして以前から壁掛け時計なども手がけています。

毎日の食生活で使う器の使い易さは、とても重要なことで大きさ、重さ、口あたり具合・・・など食器を持った時の感覚が大切な要素だと思います。そして絵付けなどの楽しみ。ちょっと贅沢かも知れませんが季節によってご飯茶碗や湯呑みを変えて季節を楽しむのも食卓を豊かにする一案です。松尾さんの魚は我家では冷奴の皿で泳ぎます。

*

飯出氏の椀、松尾氏の茶碗・・・味覚の豊富な秋に向け食卓をひと回り見まわして、これから使う器を見つけていただければと思います。ご案内いたします。新しい出会いがあるかもしれません。

〈県内の展覧会〉

第28回 社団法人 創元会群馬支部展

会期 九月九日(金)～十四日(水)
 午前十時～午後六時(最終日、午後四時)
 会場 高崎シティギャラリー 第1展示室

群馬のモダンアート2011

会期 九月二十一日(水)～十月十六日(日) 月休館
 午前九時三十分～午後五時(最終日、午後三時)
 会場 富岡市立妙義ふるさと美術館(観覧料三〇〇円)
 「群馬のモダンアート2011」パンフレット(二名様まで無料)がノイエスにあります。ご利用下さい。

新刊のお知らせ

遺歌集「うるこ雲」 田村 裕
 定価二一〇〇円(税込)

長年教職に就き、学生の頃から始めた短歌を七十年に及び作り続けてこられ、平成四年に歌集「うるこ雲」を刊行。平成十九年に八十二歳で他界された著者の短歌を「家族やご友人のご協力のもと、お嬢様の中野由紀子さんが編集されました。日々の生活、家族のこと、職場、社会の風景、季節の移り変わり、一つの歌、言葉の中に著者に一日一日の息づかいが感じられます。」

* ノイエス朝日(書籍コーナー)にて販売しています。

みんなの「群馬が好き」を伝えたい!

食・美容・教室・旅・旅館・ショップなど情報満載

クチコミ募集中!

ぐんらぼ ぐんまのクチコミサイト

http://www.gunlabo.net/
 アクセスして、メンバー登録してね

ぐんらぼ!制作室(朝日印刷工業株式会社内)
 電話 027・280・5722